

西洋文化入門Ⅱ

科目ナンバリング EUS-102
選択必修 2単位

佐藤 伴近

1. 授業の概要(ねらい)

18世紀から20世紀前半までのイギリス劇場文化の史的展開を追う。

2. 授業の到達目標

18世紀から20世紀前半までのイギリス社会と劇場の関係を理解し説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

各回冒頭で復習の小テストを行う(20%)。レポート課題(20%)。学期末試験(60%)。

4. 教科書・参考文献

教科書

プリントを配布する。

参考文献

Joseph Donohue ed. The Cambridge History of British Theatre, vol.2 1660 to 1895 Cambridge University Press

Baz Kershaw ed. The Cambridge History of British Theatre, vol.3 since 1895 Cambridge University Press

5. 準備学修の内容

川成洋 編著『イギリスの歴史を知るための50章』(明石書店、2016年)から、各回に対応する箇所を読んでおく。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 王政復古期の演劇
- 【第3回】 18世紀の演劇
- 【第4回】 歌劇文化の移入と『ベガーズ・オペラ』
- 【第5回】 作品視聴:『ベガーズ・オペラ』①
- 【第6回】 作品視聴:『ベガーズ・オペラ』②
- 【第7回】 産業革命と19世紀の劇場建設ブーム
- 【第8回】 演劇と地域ナショナリズム
- 【第9回】 19世紀の風習喜劇
- 【第10回】 作品視聴:『理想の結婚』
- 【第11回】 歌劇文化の定着とイギリス人アイデンティティ
- 【第12回】 サヴォイ・オペラと19世紀イギリス社会
- 【第13回】 作品視聴:『ペンザンスの海賊』
- 【第14回】 レパートリー運動
- 【第15回】 授業内試験